

22nd Oka Symposium

下記の通り第22回岡シンポジウムを開催致しますのでご案内申し上げます。今年も対面とZoomによるオンライン配信併用の開催となります。参加を希望される方は、【11月24日(日)17:00】までに、[参加申込フォーム](#)から登録をお願い致します。その際、対面での参加かオンラインでの参加かをお知らせ下さい。対面での参加人数によっては、会場を変更する可能性がありますことご了承下さい。

稲場道明 篠田正人 松澤淳一 森藤紳哉 吉川謙一

記

日時：2024年11月30日(土)～12月1日(日)

場所：奈良市北魚屋西町 奈良女子大学理学部数学教室 新B棟4階 階段教室 B1406

開催形式：対面とZoomによるオンライン配信併用

プログラム

11月30日(土)

13:30 - 15:30 岩崎克則 (北海道大学)

タイトル：K3 曲面上の複素力学系

アブストラクト：K3 曲面上の正則自己同型のなす複素力学系について考察する。特に位相的エントロピーが正で、回転領域と呼ばれる不変集合をもつ K3 曲面自己同型を数多く構成する。一般超幾何微分方程式のモノドロミー群をモデルとする超幾何群や、クライン特異点の特異点解消と非線型写像の同変線型化等が、この構成にどのように係わるかについて解説する。

16:00 - 18:00 松本幸夫 (東京大学名誉教授)

タイトル：ポアンカレ予想の現状とこれから

アブストラクト：「単連結で閉じた3次元多様体は3次元球面にかぎるか」という問題をポアンカレが提起したのは120年前の1904年であった。講演では、各次元に拡張されたこの予想に関して今までに得られた成果を振り返り、現在唯一残されている滑らかな4次元多様体の場合について、有望と思われる攻略法を述べる。この部分は学習院大学の山田澄生氏との共同研究である。

18:30 - 20:30 夕食会

12月1日(日)

10:30 - 12:30 日下部佑太 (九州大学)

タイトル：軌近岡理論の展望

アブストラクト：およそ90年前に誕生した岡理論は、上空移行の原理を軸として多変数函数論における三大問題を全て解決した。本講演では、当時の岡理論から“modern Oka theory”と称される岡多様体論までの流れを概観し、三大問題を現代的な視点から再考する。

14:00 - 16:00 宮本雅彦 (筑波大学名誉教授)

タイトル：大きな有限を理解するために、無限を扱う

アブストラクト： $\infty/\infty=有限$ 数学の孤島とも言われた有限群の研究をしていたら、ムーンシャイン予想を通して、多くの分野と関連する頂点代数という無限の世界に流れ着き、やっとモンスター単純群の真の姿が見え始めてきた話をしたいと思います。

問い合わせ先：奈良市北魚屋西町 奈良女子大学岡数学研究所 松澤淳一

(Phone: 0742-20-3361, e-mail:matsuzawa@cc.nara-wu.ac.jp)